

E I Q 分 析 基 礎 講 座

2 0 0 2 年 1 0 月

E I Q 研究会

鈴 木 震

寺 本 敏 幸

共著

<http://www.EIQ.jp>

E-mail : _____

E I Q 分 析 基 礎 講 座

目 次

	はしがき
第 1 章	E I Q分析要旨
第 2 章	A B C分析
第 3 章	A B C分析結果の読み方
第 4 章	度数分析とヒストグラム
第 5 章	度数分析結果の読み方
第 6 章	P C B分析
第 7 章	P C B分析結果の読み方
第 8 章	レーダー・チャート
第 9 章	配送センター計画の進め方
第10章	E I Q分析例（E X 0）
第11章	E I Q分析による計画例（ケース）
第12章	E I Q分析による計画例（バラ）
第13章	E I Q分析略号
第14章	Q & A
第15章	E I Q分析例題（E X 0）

はじめに

この講座は、物流問題の検討に欠かせないE I Q分析に関心を持ち、E I Q分析を検討してみたいという方、また、A B C分析は知っているが、それ以外にどのような分析をすればよいかを知りたいという方の手引き書である。

各章で参考事例をもとに簡単な説明を行い、読み方、考え方の参考にした。

第15章はE I Q分析の例題（E X 0）をExcelで分析した資料である。

第9章でE I Q分析結果の総合的な読み方を示した。第10章、11章は例題

E X 0のE I Q分析結果からシステム計画を行う例を示したので、本講座で、

E I Q分析からどう配送センターを計画するかの概要が理解出来る筈である。

データ分析結果を読む

データ分析はよく行われるが、分析結果を見ているだけでは駄目で、分析結果をどのように読み、どのように活用するかを考えることである。すなわち、

「データを見よう、読もう、考えよう。」

である。

データを読み易くする。

同じデータでも数値的なデータ表よりもグラフの方が読みやすいのは、よく知られている。また、A B C分析や度数分析などのいろいろな統計手法を用いた分析をするとデータが読み易くなる。データの内容と活用面からどのような分析手法を用いるとデータが読み易いかを探すとよい。本講座では、E I Q分析の基本的な分析方法と読み方を示した。

どのように分析結果を読むか。

データをどのように読むかは、分析するデータの質や内容、分析結果とそれを活用する応用面の内容にもよるのであり、また、人により、読み方や考え方が違うのでデータをこのように分析し、分析結果をどのように読むとは簡単には言えないものである。しかし、目的が配送センターを計画するためと限定をされてくると、基本的な分析方法や読み方の基本が明確になってくる。

基本とは、配送センターを計画するときは少なくともこれらの分析は必要であるということである。

データ・クッキング (Data Cooking)

「データ・クッキングとは、データを料理して食べ易くすること」と定義する。

データは見ただけでは駄目で、データを料理して食べやすくすること、すなわち、(Data Cooking)をすることが有効である。読み易い分析結果を作る分析方法が、Data Cooking手法である。

データ・クッキングは、配送センターの作業、たとえば、ピッキングを行うためのピッキング・リストなどを作業効率のよい方法で作成する手法としても活用できる。

どのようにData Cookingするか。

どのようにData Cookingして、分析結果をどのように読み、どのように活用するかはデータの質と活用面から考える問題であり、これには、自己の問題に対して、効果的なデータ・クッキングと読み方を常に心掛けることが肝要である。さらに、データを読む癖をつけることである。読む癖をつけるといういろいろな読み方が段々と分かってくるばかりでなく、新しい活用の方法やさらに、このようなデータがあればこのように活用できるというようなことも見えてくるものである。

データ分析結果に対する考え方

データ分析結果からの考え方は、データにもとづく推定であるから考えた結果が正しいとは限らないが、データを読んで考えなければ何も分からないものが、データを読むことで先が見えてくると言うことである。また、同じデータでも読み方により、また、読む人によって違う答えになるものである。

E I Q分析

E I Q分析は、

A B C分析

度数分析

P C B分析 (パレット・ケース・バラの分析)

が主な分析である。

この講座ではそれぞれの分析の概要と分析結果をどのように読むかを示している。分析結果の考え方については、簡単な事例の説明に止めた。

配送センター・計画は、それぞれの分析結果に対して、考えるだけでなく、E I Q分析結果を総合的に読み、考えることが必要である。

E I Q分析は、どのような分析をすればよいかが分かれば、誰でも簡単にできる分析である。

E I Q分析の概要が分かり、さらに、配送センター・システム計画に活用したい方は、

別著、「配送センター・システム」 成山堂発行 6000 円と

「E I Q法による配送センター・システム」(C D)

の図書を参照されたい。

質問

E I Q分析の講座内容について、ご質問があれば、下記に会社名、担当部署を明記の上、E-Mail をすれば、回答を行い、これをE I Q分析のQ & Aとして、質問内容と回答のみをWEB上で公表して、多くの方のご参考とする予定である。(質問者の会社名・氏名は公表しない)

E-mail : 現在停止中